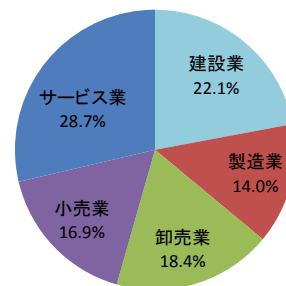


弘前地域企業短期景況観測調査 7月調査(4月～6月期分) 結果報告

【調査概要】

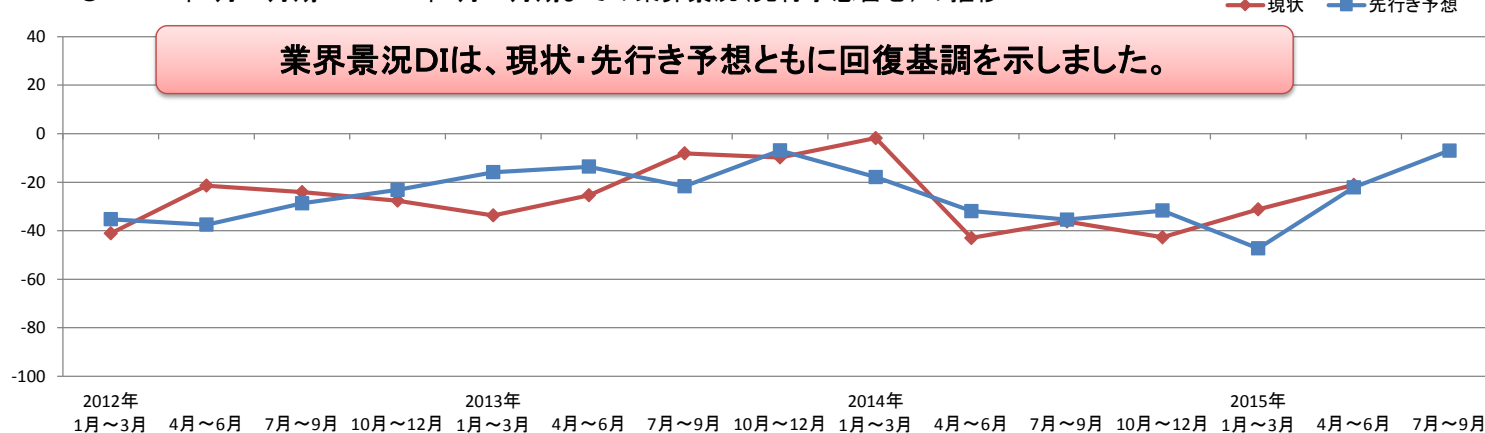
- 1) 調査対象企業 弘前商工会議所会員、議員、部会役員、小規模企業振興委員
旅館・ホテル組合役員、石油卸売業の各企業
- 2) 調査対象期間 平成27年4月～6月期
- 3) 調査時期、方法 平成27年7月 1日 調査票発送(FAX)
平成27年7月24日 調査票回収締め切り (FAX)
- 4) 結果報告方法 弘前かいぎしょTODAY8月号に折り込み全会員に発送
- 5) 回答企業の業種割合 (右の円グラフをご参照ください。)



※DI値とは、
ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index)
の略で、景気動向を示す指標です。
増加・好転など「良い」の回答割合から
減少・悪化など「悪い」の回答割合を差し引いて
計算される景況判断指数です。
プラスの値は景気の上向きの傾向を、マイナス
の値は下向きの傾向を示し、強気・弱気などの
景気感を数値化することができます。

【地域企業の景況DI】

●2012年1月～3月期～2015年7月～9月期までの業界景況(先行予想含む)の推移

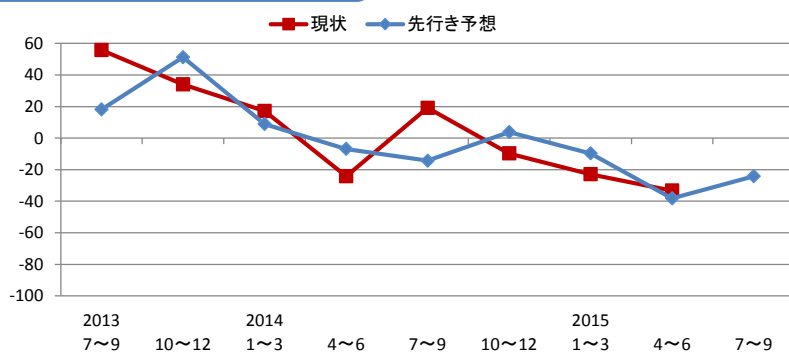


◇弘前地域の景況は、
全産業合計のDI(前年同期比)が
前回調査(1～3月期: ▲31.2)より
マイナス幅が10.1ポイント改善して
▲21.1となりました。

◇先行き(7～9月期)の予想については、
前回調査(4～6月期: ▲22.1)
よりマイナス幅が15.1ポイント改善して
▲7.0となりました。

【地域企業の業種別景況DI】

建設業

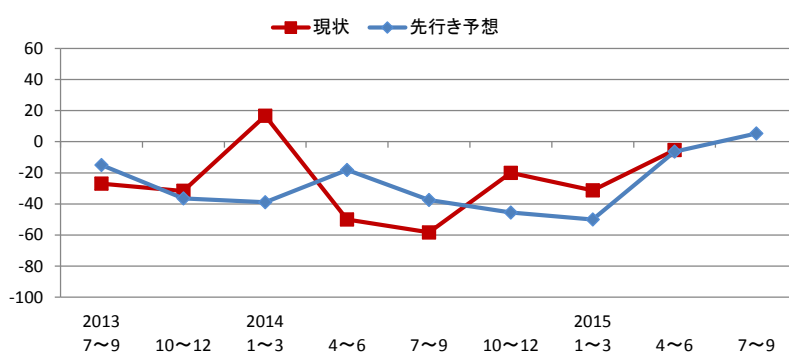


現状は悪化・先行き予想は回復基調を示しました。

◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期: ▲22.9)よりマイナス幅が10.4ポイント拡大して▲33.3となりました。

◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期: ▲38.2)よりマイナス幅が14.1ポイント改善して▲24.1となりました。

製造業

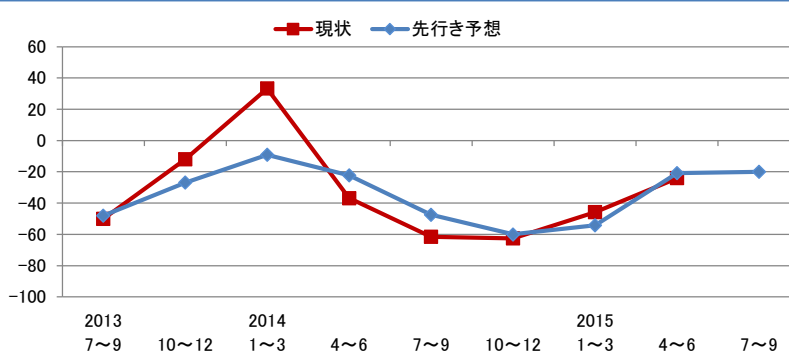


現状・先行き予想ともに回復基調を示しました。

◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期: ▲31.3)よりマイナス幅が26.0ポイント改善して▲5.3となりました。

◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期: ▲6.3)よりマイナス幅が11.6ポイント改善して5.3となりました。

卸売業

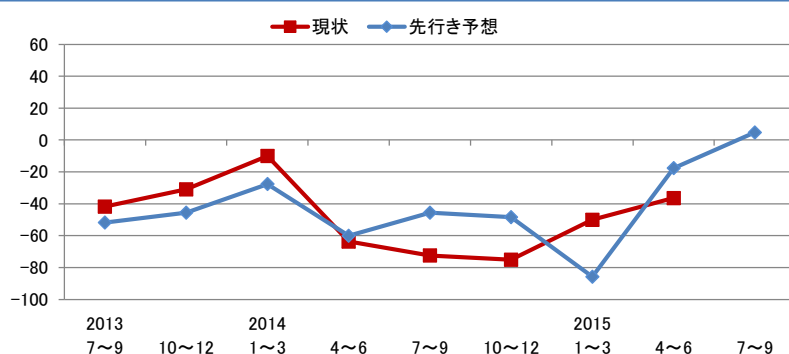


現状・先行き予想ともに回復基調を示しました。

◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期: ▲45.8)よりマイナス幅が21.8ポイント改善して▲24.0となりました。

◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期: ▲20.8)よりマイナス幅が0.8ポイント改善して▲20.0となりました。

小売業

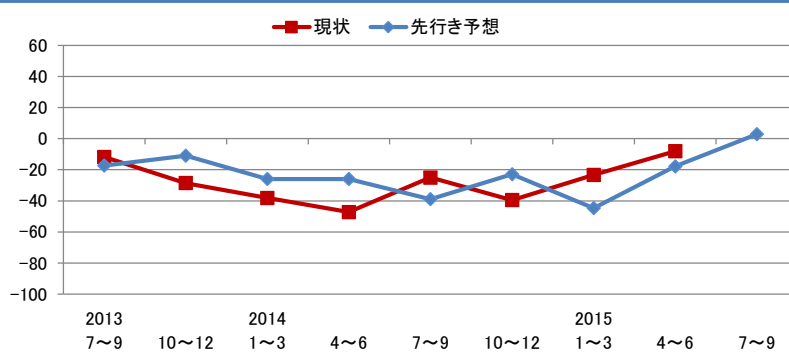


現状・先行き予想ともに回復基調を示しました。

◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期: ▲50.0)よりマイナス幅が13.6ポイント改善して▲36.4となりました。

◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期: ▲17.6)よりマイナス幅が22.4ポイント改善して4.8となりました。

サービス業



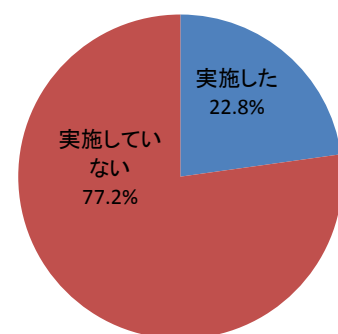
現状・先行き予想ともに回復基調を示しました。

◇DI(前年同期比)が前回調査(1～3月期: ▲23.4)よりマイナス幅が15.3ポイント改善して▲8.1となりました。

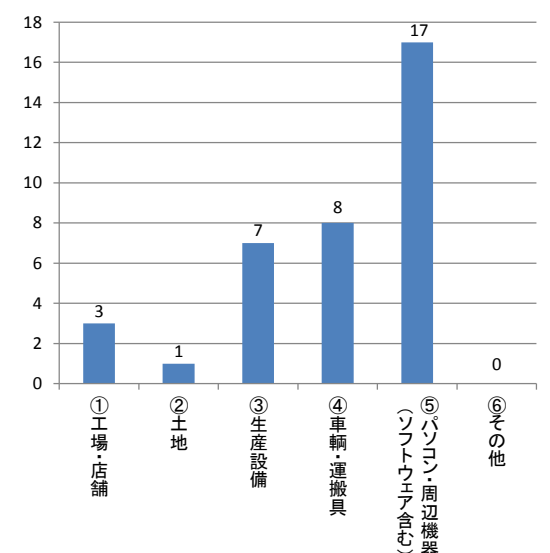
◇先行き(7～9月期)の予想については、前回調査(4～6月期: ▲17.8)よりマイナス幅が20.7ポイント改善して2.9となりました。

【設備投資動向について】

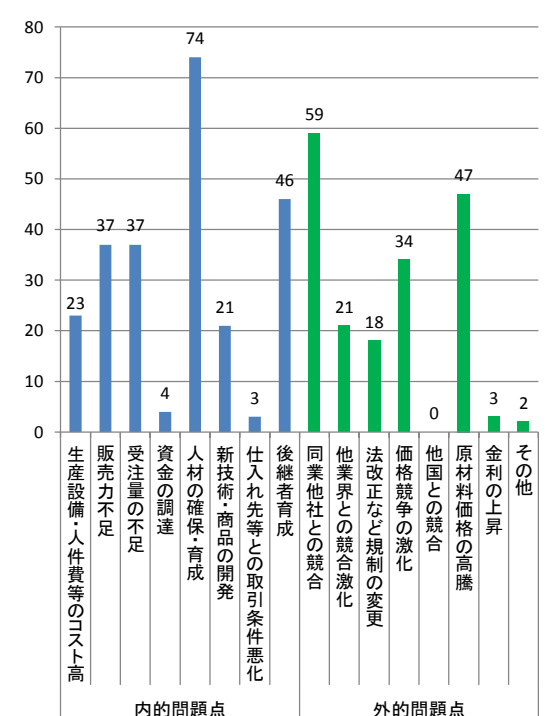
- 1) 4月～6月の間に設備投資を(実施した／実施していない)



- 2) 設備投資の内容について(複数回答可)

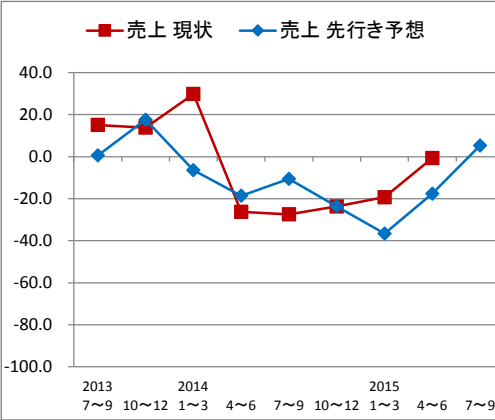
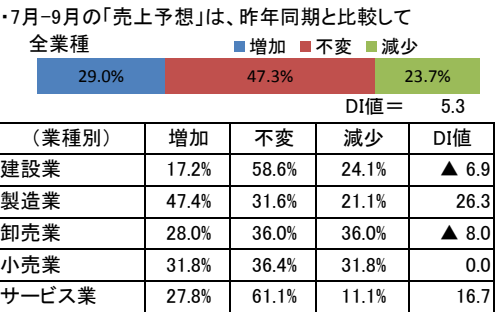
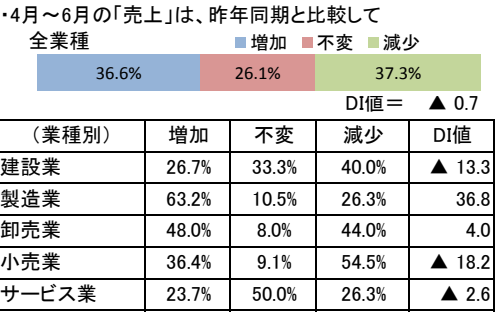


【経営上の問題点について】(複数回答可)

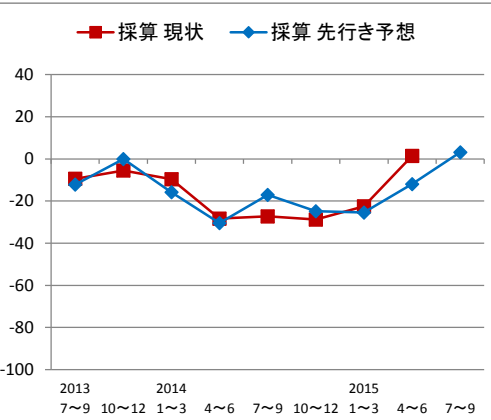
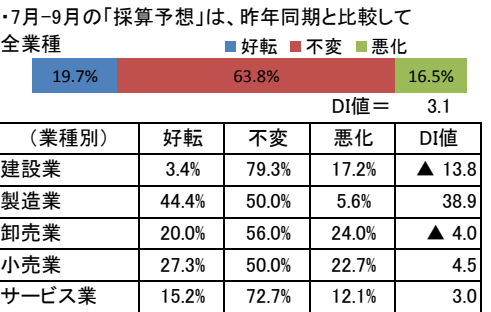
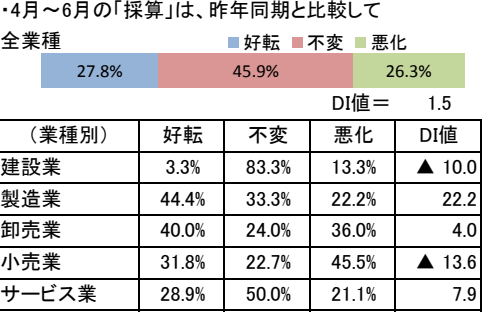


■景況動向調査

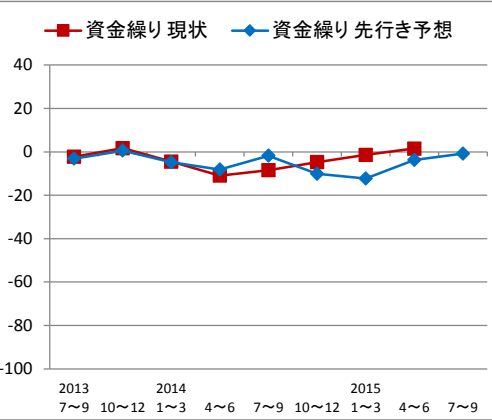
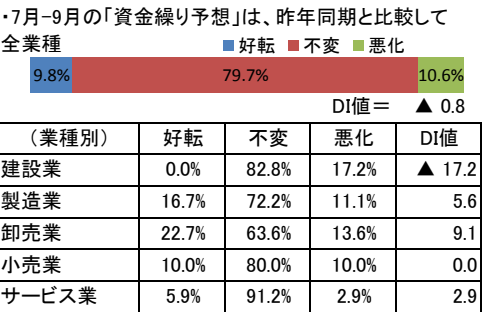
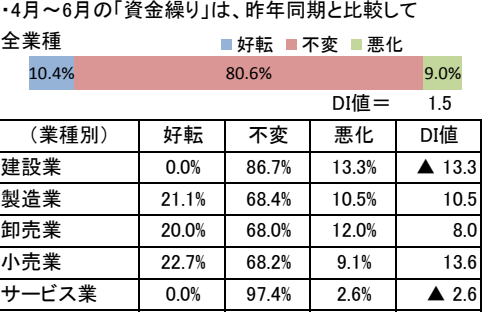
1)「売上」について



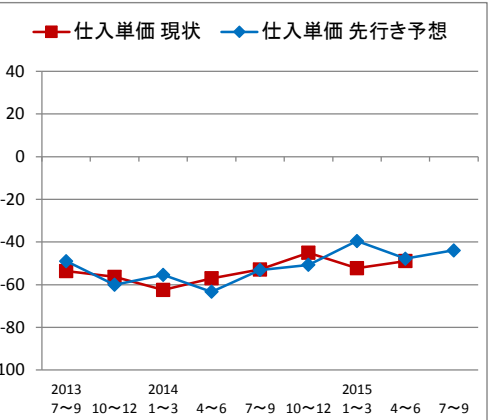
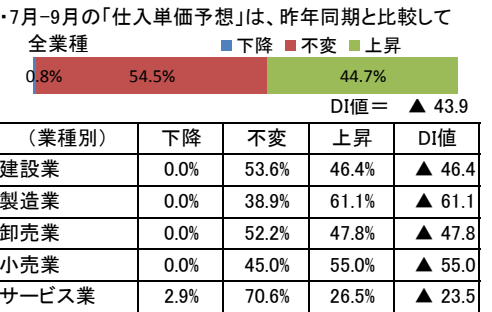
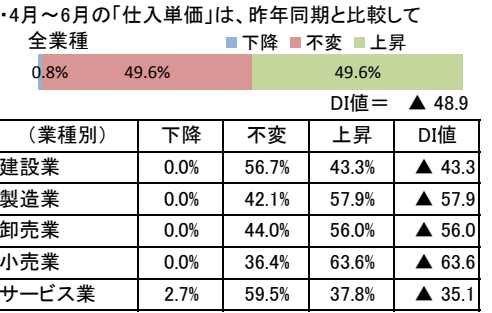
2)「採算」について



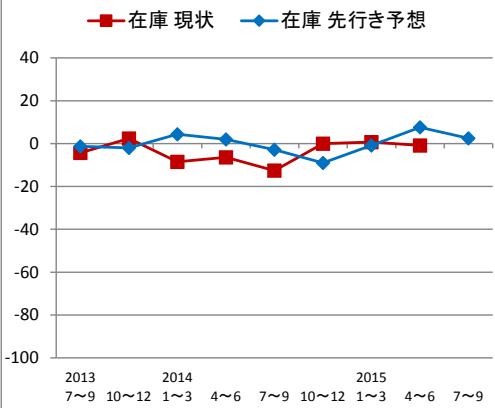
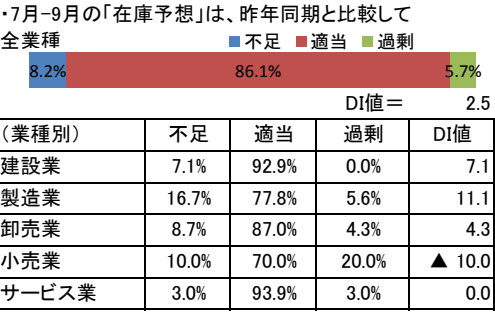
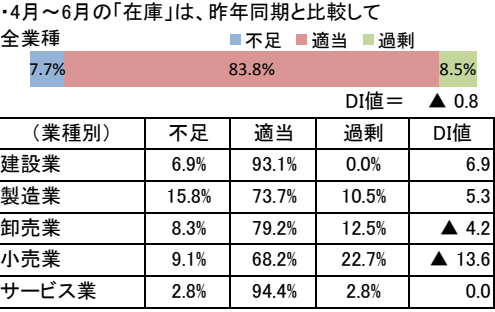
3)「資金繰り」について



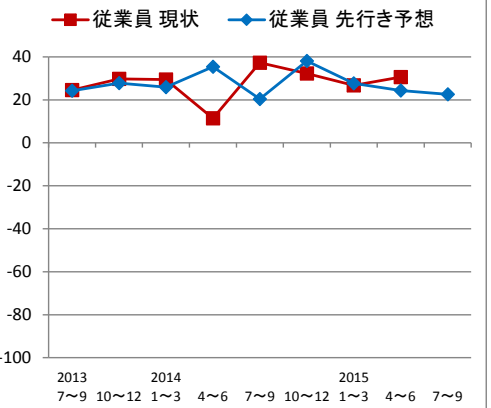
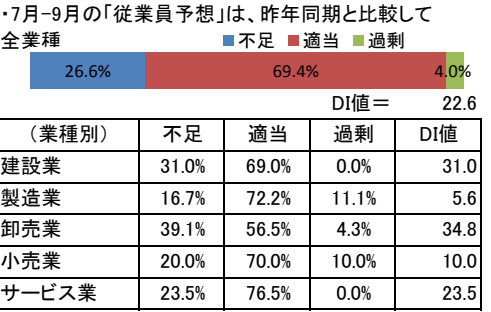
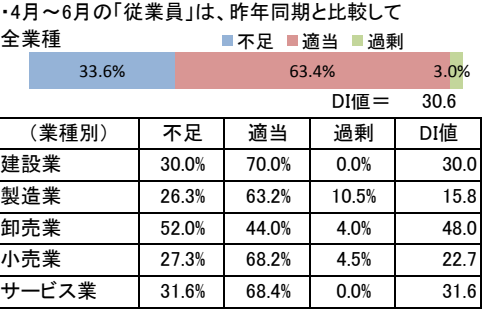
4)「仕入単価」について



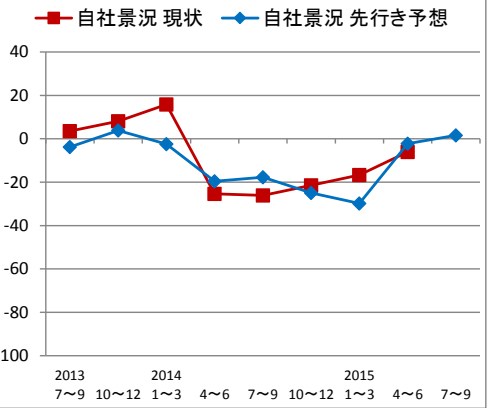
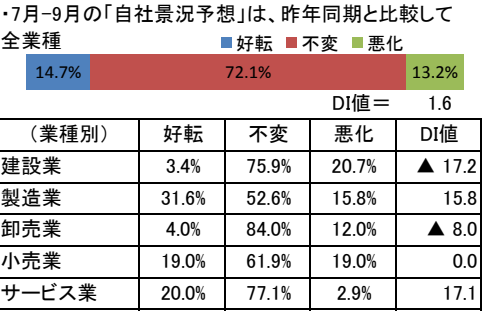
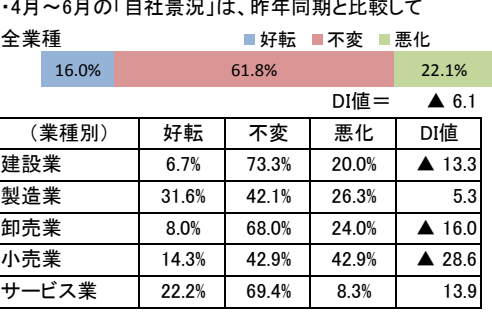
5)「在庫」について



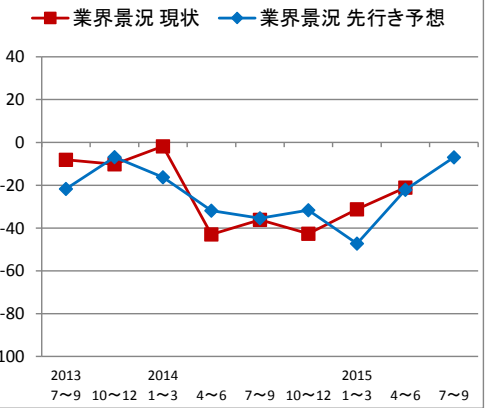
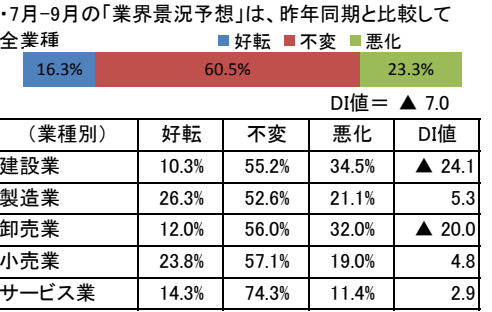
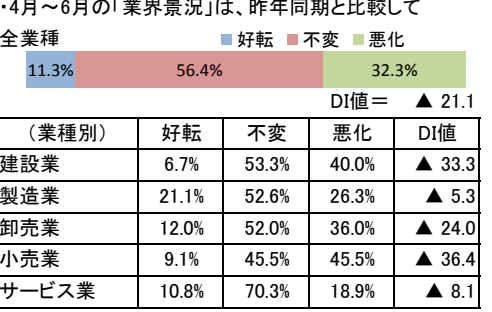
6)「従業員」について



7)「自社景況」について



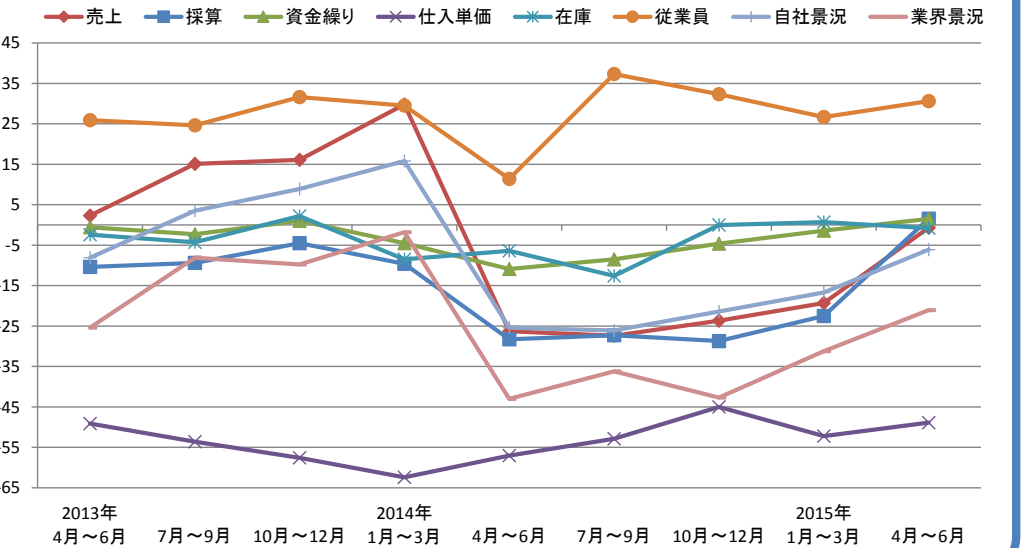
8)「業界景況」について



■地域企業の声■

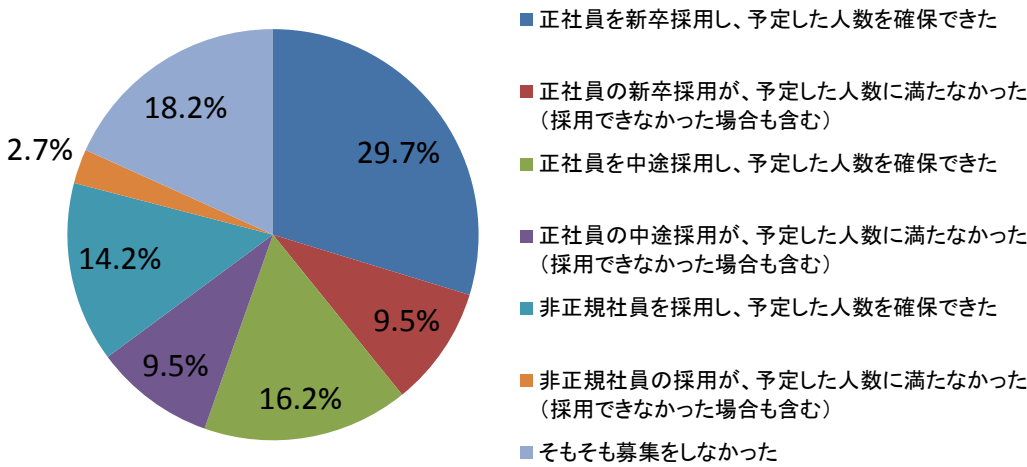
- ・人員の高齢化が進んでいる。企業の持続的な発展の為には若い人材の育成が必要である。(サービス業)
- ・当社は輸入製品(海外製品)が多いので円安の影響を受けて仕入単価の高騰や医療費抑制の政策の影響を受けて厳しくなっている。(卸売業)
- ・人材不足、就労可能人口の減少。(サービス業)
- ・経費額増加に伴う利益額の圧迫、人材の育成不足、人員不足による就業時間の超過。(小売業)
- ・近隣に同業者が多い為自社の特徴や特色を前面に出して差別化をはかる事が大切だと思っている。(小売業、サービス業)
- ・売上高が若干増加する月もあるが、先の景気(売上高)には、不安がある。中央の景気回復もどこ吹く風で、地方には回復傾向が見られないのが現状である。(製造業、卸売業、小売業)
- ・人員採用にばらつきがあったため、30代、50代の人員不足や、復興工事等の県外流出による人員不足が見られる。(建設業)

■全業種の各DI推移(2013年4月以降)■



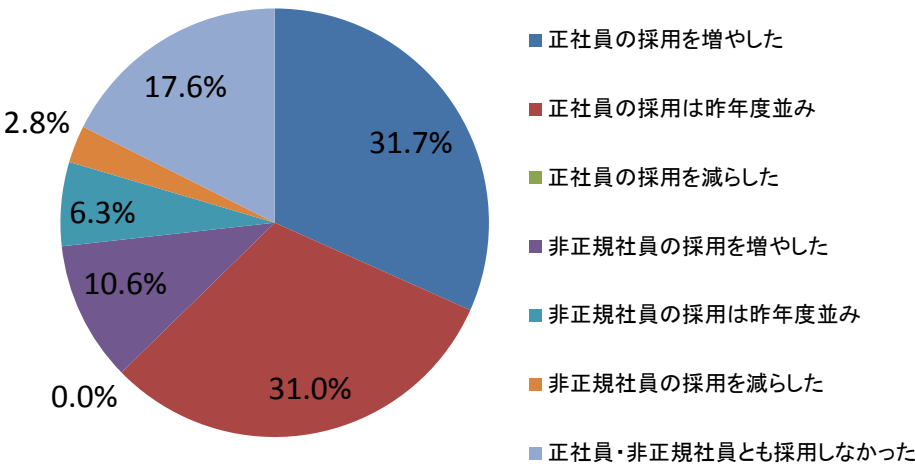
◆人材確保に関する実態調査

平成26年度の採用(平成26年4月～平成27年3月までに入社)について



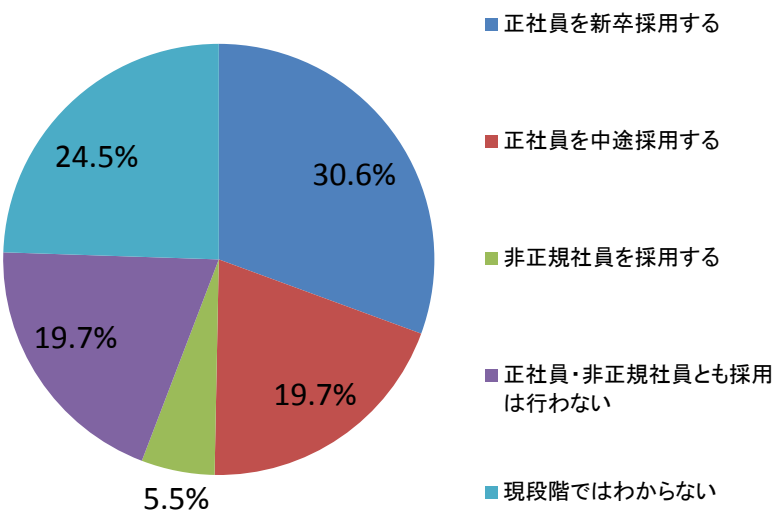
- ＜業種全体＞
- ・「正社員を新卒採用し、予定した人数を確保できた」と回答した事業所が最も多く、29.7%であった。
 - ・「正社員を中途採用し、予定した人数を確保できた」と回答した事業所は、16.2%であった。
 - ・「非正規社員を採用し、予定した人数を確保できた」と回答した事業所は、14.2%であった。
 - ・「そもそも募集をしなかった」(18.2%)、正社員、正社員の中途採用、非正規社員の予定した人数を確保できなかったと回答した事業所が21.7%であった。

平成25年度と比較した平成26年度の採用実績について



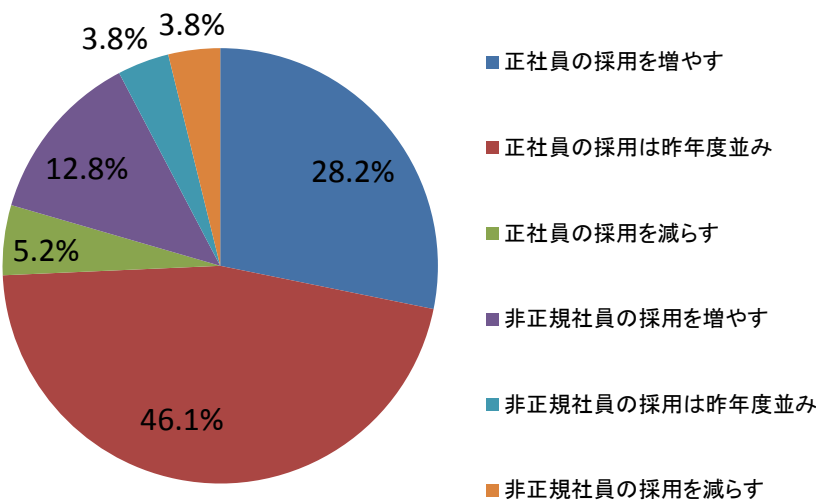
- ＜業種全体＞
- ・「正社員の採用を増やした」と回答した事業所が最も多く、31.7%であった。
 - ・「正社員の採用は昨年度並み」と回答した事業所は、31.0%であった。
 - ・「非正規社員の採用を増やした」と回答した事業所は、10.6%であった。
 - ・「正社員・非正規社員とも採用しなかった」(17.6%)、正社員、非正規社員の採用を減らしたと回答した事業所が(2.8%)となっており、採用を減らすと回答した事業所は比較的少ない結果となった。

平成27年度の採用(平成27年4月～平成28年3月までに入社)について



- ＜業種全体＞
- ・「正社員を新卒採用する」と回答した事業所が最も多く、30.6%であった。地元企業に若い人材の雇用を図る事業所が多くみられた。
 - ・「正社員を中途採用する」と回答した事業所は、19.7%であった。
 - ・「非正規社員を採用する」と回答した事業所は、19.7%であった。また、正社員や非正規社員を雇用しようと予定している事業所が半数以上となっており、積極的な雇用を図る動きとなっている。

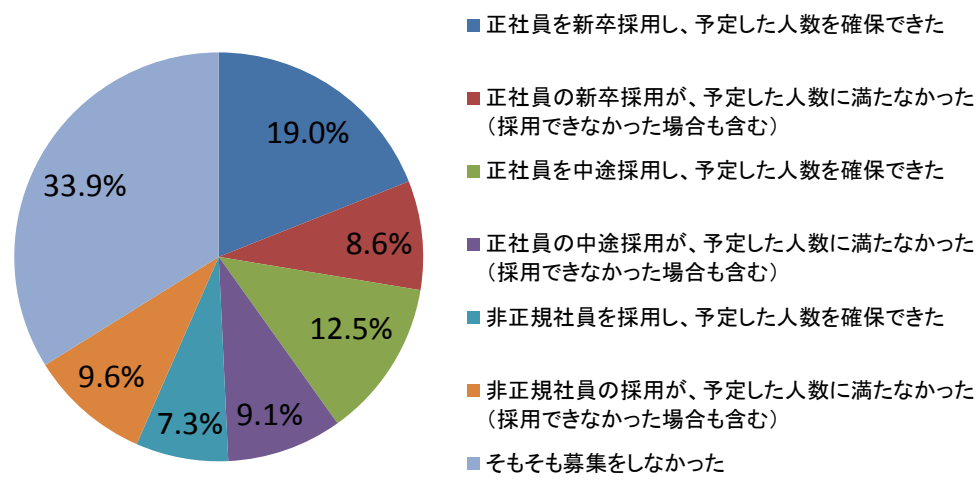
平成26年度と比較した平成27年度の採用方針について
(平成27年度に正社員を新卒・中途採用、非正規社員を採用するとの回答をした企業のみ回答)



- ＜業種全体＞
- ・「正社員の採用は昨年度並み」と回答した事業所が最も多く、46.1%であった。
 - ・「正社員の採用を増やす」と回答した事業所は、28.2%であった。
 - ・「非正規社員の採用を増やす」と回答した事業所は、12.8%であった。
 - ・正社員の採用は昨年度並みとの回答が多くみられたが、人員確保に向け非正規社員よりも、正社員の採用に力を入れる事業所が多くみられる結果となった。

■【日本商工会議所調査結果（人材確保に関する実態調査）との比較】■

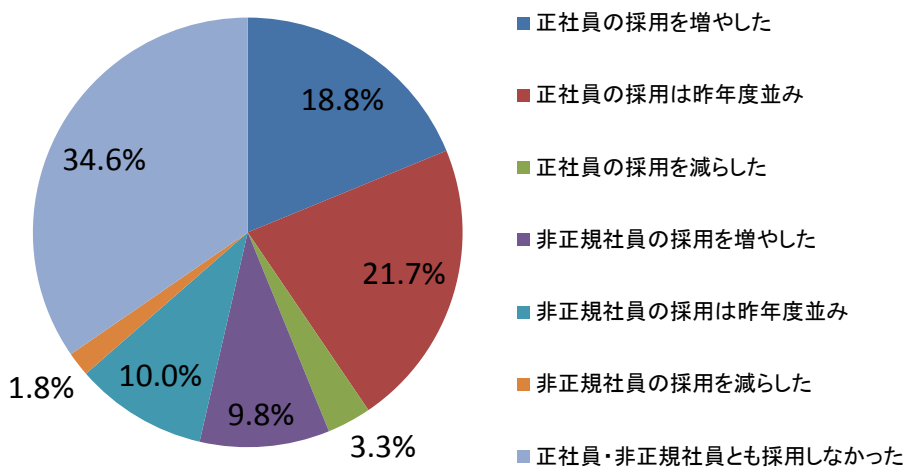
平成26年度の採用（平成26年4月～平成27年3月までに入社）について



<業種全体>

- ・「正社員を新卒採用し、予定した人数を確保できた」と回答した事業所が最も多く、19.0%であった。
- ・「正社員を中途採用し、予定した人数を確保できた」と回答した事業所は、8.6%であった。
- ・「非正規社員を採用し、予定した人数を確保できた」と回答した事業所は、7.3%であった。
- ・「そもそも募集をしなかった」（33.9%）、正社員、正社員を中途採用、非正規社員の予定した人数を確保できなかったと回答した事業所が27.3%であった。

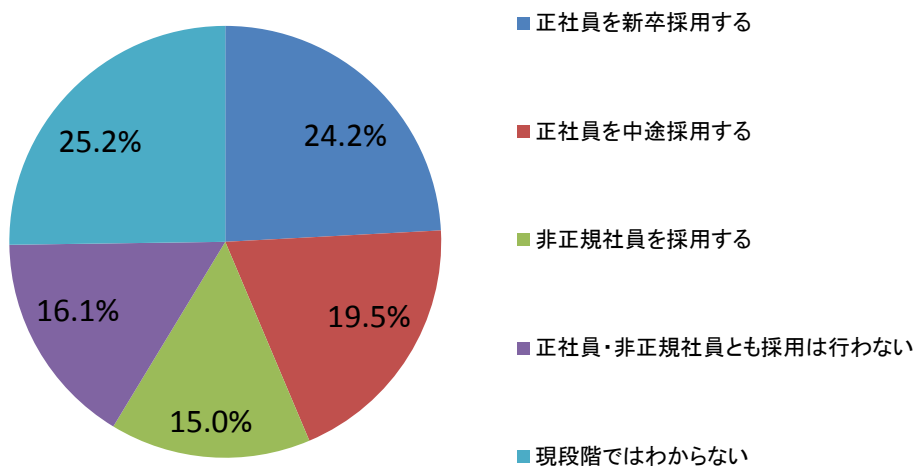
平成25年度と比較した平成26年度の採用実績について



<業種全体>

- ・「正社員・非正規社員とも採用しなかった」と回答した事業所が最も多く、34.6%であった。
- ・「正社員の採用を増やした」と回答した事業所は、21.7%であった。
- ・「正社員の採用は昨年度並み」と回答した事業所は、3.3%であった。
- ・「非正規社員の採用を増やした」と回答した事業所は、9.8%であった。
- ・正社員、非正規社員の採用を減らしたと回答した事業所が（5.1%）となり、採用を減らすと回答した事業所は比較的少ない結果となった。

平成27年度の採用（平成27年4月～平成28年3月までに入社）について



<業種全体>

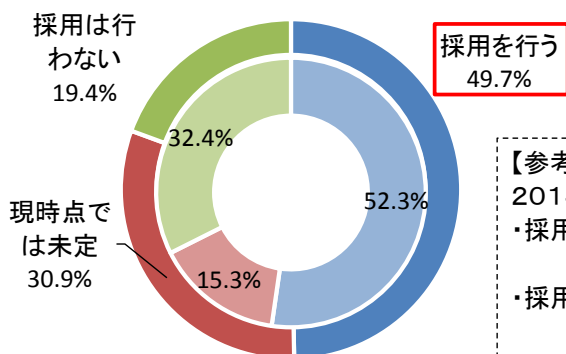
- ・「正社員を新卒採用する」と回答した事業所が、24.2%であった。
- ・「正社員を中途採用する」と回答した事業所は、19.5%であった。
- ・「非正規社員を採用する」と回答した事業所は、15.0%であった。
- ・「正社員・非正規社員とも採用は行わない」と回答した事業所は、16.1%であった。正社員や非正規社員を雇用しようと予定している事業所が半数以上となり、全国的にも積極的な雇用を図る動きとなっている。

2015年度の採用動向～日本商工会議所LOBO調査4月調査結果より～

- ・2015年度に採用を行う企業（全産業）は49.7%と、2014年4月調査と比べ、ほぼ同水準。他方、「現時点では未定」とする企業は30.9%と、15.6%増加し、「採用は行わない」企業は19.4%と13.0%の減少
- ・採用を行う企業のうち、「正社員を採用」する企業は84.8%。「非正規社員を採用」する企業は、37.4%
- ・正社員の採用数は、2014年度と比較して「増やす」企業が43.0%、「昨年度並み」が51.6%、「減らす」企業が5.4%

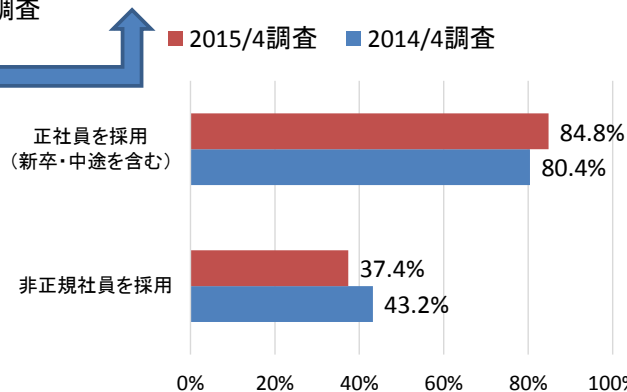
◆2015年度の所定内賃金の見通し

※円のグラフの外側が今回調査、内側が前回2014年4月調査

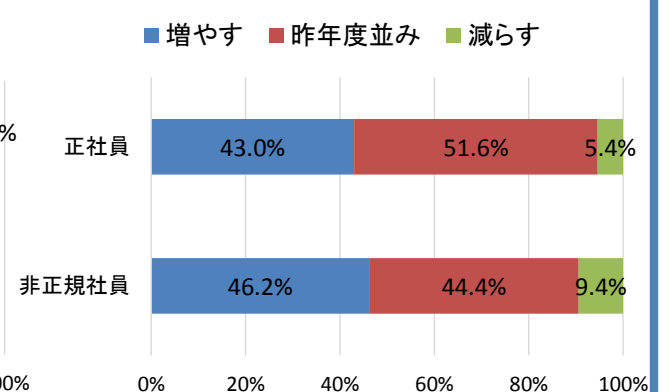


【参考】
2014年度の採用実績
・採用実績
・・・60.5%
・採用しなかった
・・・39.5%

<採用の内訳> ※採用を行う企業が回答（複数回答）



<正社員、非正規社員の採用動向>



【中小企業の声】

- ・大手企業が採用活動を強化しているため、昨年度に比べて自社への応募が減少。今年度に計画した採用人数を確保することが困難になっている。（電気工事業）
- ・退職者が出たが、先行きが見通せず、新規採用に踏み切れない。当面は仕事の効率化を図って対応する予定（不動産管理業）
- ・昨年度は新卒の正社員や非正規社員を計画通り確保できた。今年度も採用を行うが、特に即戦力が期待される中途採用に注力したい（自動車部品等製造業）
- ・技術職を採用したいが、賃金などの待遇面が課題となっている。専門学校に求人票を出すなど、採用活動を続ける予定（衣料品製造業）